

## はじめに

### 3人の子育てと仕事

この本を書いている今、私は49歳。フリーのキャリアコンサルタントです。前は、企業に22年間勤め、管理職にも就きました。プライベートでは、25歳で結婚、29歳、33歳、37歳で出産をして、2男1女の母親です。

私は、とても結婚したかったわけではなく、どうしても子どもが欲しかったわけでもありませんでした。それでも今、「やっぱり結婚してよかった」、「子どもが持てよかった」と思っています。いや、それどころか、「子どもが3人もいて、本当に幸せだ!」とさえ感じています。


私が結婚や出産に関して「やってよかった」と感じられるのは、仕事を辞めずに続けてこられたからだと思います。もしも、子どもを持つことと引き換えに仕事を辞めてしまっていたら、「結婚してよかった」とか「子どもを持ってよかった」と心から言うことができたでしょうか？ 結婚や出産を後悔する、とまでは言わないまでも、それがなかったらもつといういろいろなことに挑戦していたのではないかと、何度も考えたりしていました。

私の子どもたちは現在、大学生、高校生、中学生。私の母親としての役割は、まだ終わったとはいえませんが、いわゆる「子育て期」は過ぎ去ったといっているでしょう。子育て中の忙しさや、子どもたちのかわいらしかった姿を懐かしく感じつつ、これからはあらためて、自分の仕事を磨いて充実させていこう、とワクワクした気持ちでいます。

もしも私が、子育てのために仕事をあきらめてしまっていたら、子育てが終わっ

たあと、私には何が残っていたでしょう？ 子育て期を終了して、50歳を目前とした私が、ワクワクしたりキラキラしたりしながら高いスキルを持って仕事ができるのは、20代、30代、40代と積み上げてきた経験と実績があるからこそです。仕事を辞めなくて本当によかった！ と、心から感じています。

結婚も子どももいい。けれども、結婚や出産を本当によかったと感じるためには、自分の仕事を持ち、自分の収入があり、家事育児以外に社会の中で役割を持つことができることが、とても重要です。そのことを、多くの女性に知ってもらいたい。結婚をする前に、または子どもと仕事について何らかの決断をする前に、ぜひ知ってもらいたいと思っています。



チャンスをつかむには、工夫と勇気が必要

私は今まで、たくさん考え、自分なりにいろいろと工夫をしてきたからこそ、家庭も仕事も、どちらもあきらめずに続けてくることができました。今まさに、迷ったり悩んだりしている女性に伝えたい。誰にでも自分らしく生きるチャンスがあります。そのチャンスを逃さずにつかんでほしいのです。

あなたがやりたいことは何ですか？ 欲しいものは何ですか？ さあ、あなたらしい人生を、これから一緒に考えましょう！